

江差町立南が丘小学校



かけはし

【本年度の重点目標】

『学び合い高め合う子どもの育成』

〔笑顔!〕〔習慣!〕〔学び合い!〕

TEL0139-52-0524 FAX0139-52-5489

『時よとまれ、君は美しい』

校長 木村 英明

現在時刻は10月23日(日)の14時過ぎです。本日の学習発表会の余韻に浸りながら、原稿を書いています。今日はどの学年も立派に発表してくれました。全員が一緒にの思いになりながら発表する姿。これは今の時代にできそうでできないような気がします。だからこそ、今日の南小の子どもたちの姿は輝いて見えたのかもしれませんが。その姿を見て思いついたのが今回のタイトルです。このタイトルはミュンヘンオリンピックの記録映画の題名ですが、今日の子どもの頑張りや称え、感謝する意味で使わせてもらいました。



私にとっては初めての南小の学習発表会でしたが、観客席を見ると、舞台の演奏に体でリズムをとる方。可愛らしい低学年の発表に微笑む方。時にはハンカチで目頭を押さえる方等保護者の皆様は私以上に感動されたのではないのでしょうか。そして、子どもたちの真剣な表情や一生懸命な発表を見て、心地よい時の流れを感じたのは、おそらく私だけではなかったと思います。

ところで、私の教え子に現在劇団四季で活躍するA君がいます。A君は小学生の時は俊敏な子ではありませんでしたが、とりたてて演劇に興味を持っていた訳ではありません。しかし、ある日突然人生の転機が訪れます。高校2年生の時の修学旅行で観た『ライオンキング』に感動して、劇団四季を目指すようになったそうです。一人の人生をも変えたその時の感動というのはどんなものだったのでしょうか？

しかし、実は感動するというのはその人に感動できる能力があるからだ話す方がいます。この論に頷くとともに、この感動できる能力は果たして人工頭脳に備わるのだろうか?とも考えます。もし、感動が人間だけに与えられた能力だとしたら、それは同時に「創造する能力」ともつながってくるかもしれません。少し大げさな表現になるかもしれませんが、将来、人工頭脳に仕事を奪われないためにもこの感動する能力を大切に育てていく必要があるような気がします。

少し話が広がりましたが、今日の子供達からもらった感動を思い出すのと同時にある若い先生が先日職員室で言った言葉が思い出されます。「子どもたちが笑顔で頑張ってくれているのが何より嬉しいんです」・・・こういった大きな行事を通じて子どもが成長するのは勿論なのですが、実は教師も成長するのです。そして今回皆様からいただいたたくさんの声援も私たち学校の励みになります。本当に有難うございました。衷心より感謝申し上げます。最後にめっきり寒くなりました。どうか皆様風邪などひかれませんように。

学習発表会～83人の笑顔が輝いた！～

「作ろう最高の舞台 とどけよう83人の笑顔！！」が今年のスローガンでした。子どもたちは、「最高の舞台を作るため、最高の演技を見てもらいたい。」という気持ちで練習を積み重ねてきました。

1年「島人ぬ宝」



1年 はじめのことば



2年「きつねのたまご」



3年「スマイルポップダンス」



4年「一休さん」



5年「江差沖揚音頭」



5年「江差鮫踊り」

6年「お母さんの木」



6年生の劇「お母さんの木」では、戦争でわが子を失っていく母親のやりきれない思いを子ども役の母を思う叫びの声やナレーターの情感のこもった話し方と合間った見ごたえのある演技が披露されました。

プログラムの最後は、全校合唱「ビリーブ」でした。体育館いっぱいに透き通るように響き渡る歌声に、聞き入るとともに、子どもた

ち一人一人の真剣な表情に胸が熱くなりました。

合唱や器楽合奏、劇、表現、郷土芸能など来校された皆様には、プログラムの最初から最後まで子どもたちの発表を見ていただくとともに、温かい拍手とご声援をいただき、心より感謝しております。本当にありがとうございました。

今後とも本校の教育活動へのご支援・ご協力をよろしくお願いたします。

全校合唱「ビリーブ」





10/4 避難訓練（煙体験も行いました。）



はじめに、火災を想定し、「お・は・し・も」に気をつけ、玄関前に避難しました。その後、火災現場で発生する煙の危険性について、理科室での出火を想定して体験しました。全員が、火災時の煙の恐ろしさについて学びました。

今年度の全国学力・学習状況調査から

今年度4月19日（火）に実施された、全国学力・学習状況調査の結果と傾向等について、10月3日（月）に6学年保護者に個人票とともに配布しました。ここでは、結果と傾向の概要と調査結果を踏まえた改善のポイントについて示させていただきます。

1 教科に関する調査による成果と課題

○国語A…平均正答率は、全国平均よりやや高い結果となっています。

成果：漢字を正しく読んだり書いたりすること

目的に応じて、図と表とを関係付けて読むこと等

課題：目的や意図に応じて、書く事柄を整理すること

ローマ字を正しく読んだり書いたりすること等

○国語B…平均正答率は、全国平均よりやや高い結果となっています。

成果：活動報告文において、課題を取り上げた効果を捉えることができること

目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること等

課題：話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問すること

目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むこと等

○算数A…平均正答率は、全国平均とほぼ同様となっています。

成果：四則計算（整数、小数、分数、混合）を解くこと

示された場面を適切に読み取り、全体の人数を求める式に表すこと等

課題：数の大小を理解して、展開に沿って質問すること

基準量と比較量の関係を理解していること等

○算数B…平均正答率は、全国平均とほぼ同様の結果となっています。

成果：示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じ決まりが成り立つかを調べることができる

示された事柄について、二つの表を基に読み取ることができない事柄を特定することができること等

課題：示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述できる等

2 児童に対する質問紙調査における本校児童のよさと課題

《「よさ」について》

- 将来の夢や目標を持っていること。
- 家で、自分で計画を立てて勉強していること。
- 家で、学校の宿題をしていること。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っていること。
- 国語の勉強は好きであること。
- 国語の授業の内容が分っていること。
- 算数の勉強は好きであること。
- 算数の授業の内容が分っていること。

《「課題」について》

- 毎日、同じくらいの時刻に寝ているかどうか。
- 平日の1日当たりの「読書時間」が十分であるか。

3 本校における学習指導改善の方策

(1)長文問題への対応

平成27年度の結果を受け、今年度もB問題にも出てくるような長文問題にも「授業や放課後学習等」で取り組ませるなどの工夫をしてきました。今年度は昨年度に引き続き、成果として現れている部分が多く、取組の適切さが明確になったので、今後も「記述での解答」への取組を重視していきます。

(2)基礎基本の一層の定着

基礎的な学習内容の習熟度をさらに上げるため、漢字や計算など「朝学習の時間」等において、前の学年までの内容を含めた大事なポイントになる問題を効果的に反復し、たば風南小漢字コンクールやたば風南小計算コンクールで、定着の状況を確認していきます。また、児童の学習状況に応じた家庭学習への取組にもつなげていきたいと思えます。

(3)互いの考えを認め合い、高め合う関係づくり

授業において、可能な限り自己決定する場の設定を工夫するとともに、自分の考えを条件に応じてまとめること、ペアやグループ、全体の場で説明し合う場面を設けること、学習した基本的な知識や技能を「活用」できるように工夫します。

(4)授業改善の日常化

教材・教具の工夫や「教える」場面・「考えさせる」場面を授業の中に適切に位置付けた基本的な流れを全学年で取り組むとともに、児童の学習意欲の一層の高揚に努めます。

(5)家庭との実効性のある連携

家庭学習や生活リズム調べなど家庭との連携を図りながら、児童一人一人の状況に応じた家庭学習・家庭読書の習慣化を図り、自ら学ぼうとする一層の意欲や態度の育成に努めます。

◎ お願い

本校では、今日求められている学力を、「知識・技能はもとより、思考力や判断力、表現力、学習意欲なども含めたもの」ととらえています。

今回の調査の結果は、こうした多様な学力の中の「一つの側面」の結果であることにご理解下さい。